

和顔愛語

子どもに「感動」を与える学校

教職員が「敏働」を共有する学校

地域・保護者、教職員の「汗動」にささえられた学校



令和4年6月27日 校長 発行

平和について考える

今週は、「平和を考える習慣」です。生徒会の先生からも職員会議で提案されていましたが、6月29日（水）の6校時に「平和教育」に関わる道徳の授業が行われ、後半には折り鶴を作成する予定です。この道徳の授業はもちろん、各教科や朝の会・帰りの会等で、平和について生徒も先生も考える機会にしてほしいと思います。

今、世界ではロシアのウクライナ侵攻という戦争が現実起きています。テレビやインターネットでその様子は報道されていますが、多くの兵士や一般市民が犠牲になっていることや、その影響がアフリカなどの国々に深刻な飢餓問題を引き起こしているようです。食べ物やガソリン代などの値上げなど身近なものにも繋がってはいますが、自分事として考えられないのが現状だと思います。是非、この機会に色々な話を、色々な人からしていただき、今、自分ができることなどをみんなで考えてほしいと思います。

図書室では、『戦争と平和を考える本』が展示されています。

学校司書さんが、ウクライナ情勢に関わる新聞記事、原爆に関わる本などを取り揃えてくれました。参考にしていただけたら和について考えさせられます。第二次世界大戦後に、あれほど戦争をしてはいけないこと、命がどれほど大切なのかを全世界の人が共通に認識したはずなのに…。



古い話になりますが、高校生の時、かぐや姫というバンドのファンになり、よく聞いていました。その中に「あの人の手紙」という曲がありましたので、最後に紹介します。

「あの人の手紙」

歌：かぐや姫 作詞：伊勢正三 作曲：南こうせつ 1972年

泳ぐ魚の群に 石を投げてみた 逃げる魚達には 何の罪があるの でも今の私にはこうせすにはいられない
私の大事なあの人は 今は戦いの中 戦場への招待券という ただ一枚の紙きれが 楽しい語らいの日々を
悲しい別れの日にした

殺されるかもしれない私の大事なあの人 私たち二人には何の罪があるの 耐えきれない毎日は
とても長く感じて 涙も枯れた ある日突然帰ってきた人 ほんとにあなたなの さあ早くお部屋の中へ
あなたの好きな白百合をかかさず窓辺に 飾っていたわ

あなたのやさしいこの手は とてもつめたく感じたけど あなたは無理してほほえんで 私を抱いてくれた
でもすぐに時は流れて あの人は別れを告げる いいのよ やさしいあなた 私にはもうわかっているの
ありがとう私のあの人 本当はもう死んでいるのでしょう 昨日手紙がついたの あなたの死を告げた手紙が